長崎市立岩屋中学校　　学力向上プラン（2022.8～2023.7）

【第５次総合計画】基本施策 G1「長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます」→2025 年度にめざす姿「子どもが自ら学び、自ら考え、判断して主体的に行動できる「確かな学力」を身につけている」

個別施策 G1-1「確かな学力の向上を図ります」G1-2「健やかな心と体を育成します」G1-3「家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図ります」G1-4「安全・安心に学べる教育環境を整備します」

学校教育目標　R4　『心豊かでたくましく、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成』　　志は高く、思いやりの心は深く、心と体は強く

研究テーマ　　R4　主体的に学び、表現力（書く力、話す力等）を身につけた生徒の育成　～学び合い、伝え合う教育活動を通して～

長崎県　学力向上のための三つの提案を基にした本校の取組

「できた」「わかった」の笑顔があふれる授業	「夢・憧れ・志」を共に育む家庭・地域との連携	子供が成長する喜びを分かち合う職員室
○「めあて（課題）」と「まとめ」が子供に届く授業 ○ねらいに即した「書く活動」を重視する授業 ○「学習規律の徹底（新しい生活様式含む）」と「支持的風土の醸成」により安心して学べる授業	○課題の質と量を見極め、自主的な家庭学習の習慣化を図るための連携 ○子供の学びを認め合い、自己肯定感を高めるための連携 ○学校での学びを生かす場を創るための連携	○全職員が自校の課題を理解し、日々の授業改善につなぐ職員室 ○研修の機会を学校の内外に求め、学び続ける職員室 ○学年・教科・世代を超えて語り合う職員室
・全授業での「めあて」「課程」「まとめ」を確実に子供に届ける授業を、教科の実情に合わせて実践する。 ・失敗から学ぼうとする態度を育むことを目的として、ペアやグループ活動を積極的に取り入れ、教え合いながら、安心して学び合える雰囲気を作り出す。 ・３分前入室、２分前着席、１分前黙想を、授業前の風土として、教師・生徒同一歩調で実施する。 ・「言語理解力」「書く力」を育成するために、スモールステップを積み重ね、自分の力で文章を書くことができる力の土台を築く指導を行う。 ・Chromebook を活用し、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質能力が一層確実に育成できるＩＣＴ環境を実現する。	・個に応じた課題の出し方をし、分かる喜び、提出期限を守ることができた達成感を感じさせ、自己肯定感を高めさせる。 ・長期休暇中や定期テスト前に学習会を実施する。 ・各教科での学びを総合的な学習の時間に生かし、保護者や地域の方へ発表するなどして、生徒の活動や頑張りを確認することができる場を設定する。 ・職業人講話、高校説明会、認知症サポーター養成講座等、あらゆる機会で、地域の人材を活用し、「夢・憧れ・志」を育む。	・全職員で過去の学力調査問題の分析・共通課題及び対策の検討をする。 ・年１回以上の全職員参観の研究授業を実施する。他者の授業を参観し合い、指導力を高める。 ・アセスを活用し、生徒理解に努める。生徒の顕著なまたは些細な良い行動を共有し合い、自己有用感を高めるための声掛けを積極的に行う。月２回の学年会で必ずその場を設ける。 ・すべての教師が道徳の授業を実施する。道徳や総合的な学習の時間、各教科における生徒の反応や授業の展開について気軽に意見交換できる職員室の雰囲気を作る。

＜数値目標＞　・学力調査の全教科で、全国、県、市の平均を超える。（＋３ポイント以上）

検証軸　　・自分にはよいところがある。　　（８割以上）